

# 公定歩合引下げに関する政策委員会議長談

(昭和58年10月21日)

日本銀行は10月22日から公定歩合を0.5%引下げ5.0%とすることを決定した。

また、本日大蔵大臣から預貯金等の金利の最高限度変更に関する発議を受け、直ちに金利調整審議会に諮問した。

最近の経済情勢をみると、景気は全体として緩やかな回復過程にあるが、国内需要は総じて伸び悩んでいる一方、物価は安定を続けている。この間、海外の金利は漸次低下をたどり、為替市場では円相場が回復を示してきた。

今回の措置はこうした諸情勢を勘案して決定したものである。これにより金利水準全般の低下が促進され、これまでの金融緩和の効果と相まって経済活動全般に好ましい影響が及ぶことを期待する。

日本銀行は、今後とも物価の安定を基礎とした経済の持続的発展を図るため、金融政策を適切に運営していく所存である。

また円相場のわが国経済に対する影響の重要性にかんがみ、今後とも為替相場の変動には機動的に対処して参りたい。

以 上

## 日本銀行基準割引歩合および基準貸付利子歩合の変更

(昭和58年10月22日実施)

- |   |        |           |
|---|--------|-----------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、<br>特に指定する債券または商業手形<br>に準ずる手形を担保とする貸付利<br>子歩合 | 年5.0%  | (0.5%引下げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利<br>子歩合                                       | 年5.25% | (0.5%引下げ) |